

2025年4月1日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

株式会社ソニック様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ(代表取締役社長 岩崎 俊一郎)は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、株式会社ソニック様(北海道札幌市、代表取締役 櫻井 利行様)が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

北洋銀行グループは今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会社名	株式会社ソニック
所在地	札幌市東区北20条東2丁目2-18
代表者	代表取締役 櫻井 利行
業種	介護事業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

サステナビリティ経営方針

私たちはご利用者やそのご家族、職員に至るまで安心して過ごせる施設を作るため、サービスの向上、施設、職場環境の改善に取り組み、地域との交流を行いながら社会課題、環境問題の解決に進むための持続可能な経営に繋げ、より一層の企業価値の向上に努めてまいります。

経営理念
介護の社会化 人々の成長 地域貢献

地域社会の発展、
そして福祉の増進に貢献するために

事業に影響を与える環境変化

環境

- 脱炭素に向けた社会変化
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化
- 循環経済の加速

社会

- 人口減少・少子高齢化
- 世帯構造・社会構造の変化
- 働き方改革の進展
- 介護市場の競合激化・異業種の参入
- 地域創生の貢献に対する重要度の高まり

経済 ガバナンス

- サプライチェーンの見直し
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 消費者の情報収集経路及び嗜好の多様化
- 情報セキュリティへの対応
- 企業の社会的責任に対する重要性の高まり

重要課題（マテリアリティ）

1 QOL向上のための
サービス品質へのこだわり

2 職員が未来を想像出来る
組織づくり

3 環境に優しい
事業活動の推進

4 信頼構築に向けた
ガバナンス体制の確立

取組内容

- ① サービスの高度化
- ② 施設稼働率の向上
- ③ マニュアル化

- ① 研修の拡充
- ② エンゲージメントの向上
- ③ 定着率の向上

- ① 業務効率化
- ② 脱炭素

- ① 地域貢献
- ② ガバナンス構築

主なステークホルダー

入居者及び家族
職員・地域行政
施設出入業者

職員

環境
入居者及び家族
職員

入居者紹介元
施設出入業者
入居者及び家族

サステナビリティ経営への取り組み

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。
 また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。
 重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。
 2025年4月 株式会社ソニック

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

経済・ガバナンス



当社は、経営の客観性・透明性を高め、コンプライアンス体制の強化・充実を推進することを通じて、企業価値の向上を目指します。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・高度なサービスの提供
- ・プライバシーポリシーの制定
- ・正確なサービス内容の説明
- ・経営理念、法令遵守の理解の拡大

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
QOL向上のためのサービス品質へのこだわり	サービスの高度化	■ 2028年度末までに介護職員の50%以上を介護福祉士にする
	マニュアル作成	■ 2026年度末までに業務フローを整理・更新する
	施設稼働率の向上	■ 毎年、全施設の稼働率を95%以上とする ■ 2025年4月から退居日から新規入居日までの日数を14日以内とする ■ 2025年4月から全施設の稼働状況を共有できる体制を構築する
信頼構築に向けたガバナンス体制の確立	ガバナンスの構築	■ 2025年4月以降、6か月毎にSDGsに関する取り組みについて職員全員への共有を行う ■ 2025年度末までに職員全員への経営理念の周知徹底を行う

環境



当社は、地球環境問題を経営上の重要な課題の一つとして認識し、持続可能な社会の実現に向け、事業活動による環境負荷低減への取り組みを実施します。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・ペーパーレス化、LED照明の導入
- ・環境配慮型車両の導入
- ・介護サービス業務のシステム導入
- ・適切な在庫管理体制の構築

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
環境に優しい事業活動の推進	業務効率化	■ 2028年度末までに契約書業務のペーパーレス化50%（2024年度比）を達成する ■ 2028年度末までにバックオフィス業務の50%をシステム化する
	脱炭素への取り組み	■ 2028年度末までに車両台数全体の2割以上の環境配慮型車両の導入を行う ■ 2025年度末までにCO2排出量削減に向けた計画の策定を行う

社会



当社は、持続可能な世界を目指し、地域社会からの期待に応え、企業としての責任を果たすために、人権を尊重し、どなたでも安心して働ける環境をつくるとともに、事業を通じた地域社会への還元を行っています。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・運営懇談会、ケア連絡会による情報の共有
- ・地域貢献活動の促進
- ・介護、育児休暇の取得推進
- ・星置養護学校への寄贈
- ・エンゲージメント調査の活用

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
職員が未来を想像出来る組織づくり	研修の拡充	■ 2025年4月から社内研修を2か月に1回必ず開催する
	職員定着率の向上	■ 入職者全員に対し、入職後1・3・6・12か月のフォローアップ研修を実施する ■ 2029年度末までに従業員の勤続年数5年以上の割合を50%以上とする
	エンゲージメント向上	■ 2025年度末までにキャリアパスの改定（新キャリアアップ制度）を行う ■ 2025年度末までにパート職員および海外人材向けの人事評価制度を整備する
信頼構築に向けたガバナンス体制の確立	地域への貢献	■ 年1回以上の地域貢献活動への参加を継続する ■ 2030年度末までにインターンシップ制度を導入する

